

ワイルドなあなた、 蚊・ダニから狙われていますよ。

薄着だと
蚊やダニに
咬かまれちゃうぜえ〜

おうちそのじやなからか

おうちそのじやなからか

タレントズギちゃん(杉山英司)

蚊・ダニに咬かまれないようにしようぜえ〜

蚊やダニが媒介する感染症から身を守るためには、蚊やダニに咬かまれないことが大切です。

屋外で活動する時は

- 肌の露出を少なくする(長袖・長ズボンなど)
- 虫除け剤を使用する

詳細はウラへ

蚊媒介感染症
厚生労働省



ダニ媒介感染症
厚生労働省



蚊・ダニの活動が盛んになる春から秋にかけて、キャンプ、ハイキング、農作業などで注意しよう。

蚊・ダニに咬まれないために

感染症

蚊が媒介

日本脳炎、デング熱、ジカウイルス感染症、チクングニア熱など

ダニが媒介

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、ツツガムシ病、ライム病など

蚊・ダニに咬まれないポイント

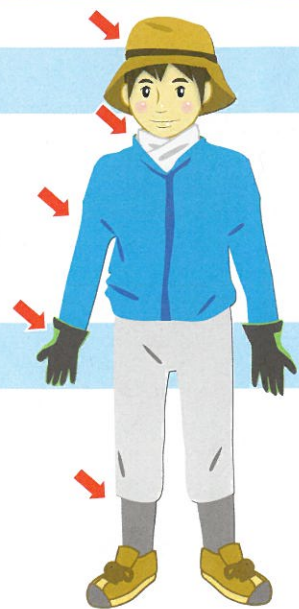
蚊・ダニ共通対策

- 肌の露出を少なくする
 - 長袖・長ズボンを着用する
 - 足を完全に覆う靴を履く (サンダルなどは避ける)
- 明るい色の服を着る
- 虫除け剤を使用する

ダニ対策

- 帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻くなど
- シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる

* 野外活動後は入浴し、ダニに咬まれていないか確認しましょう。特に、首、耳、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏などに注意しましょう。



※熱中症にも注意しましょう

蚊の発生を抑える

- 不要な水たまりをなくす
例：屋外に置かれた植木鉢の受け皿、放置された空き缶やペットボトル、野積みされた古タイヤなど
- 詰まった排水溝などを清掃する



ヒトスジシマカは、小さな水たまりを好んで産卵します。日本に広く生息するヒトスジシマカはデング熱、ジカウイルス感染症、チクングニア熱などを媒介します。

海外で蚊に刺されたとき

蚊に刺されて体調を崩した場合、医療機関を受診し、渡航歴と蚊に刺されたことを伝えましょう。

ダニに咬まれたとき

無理に引き抜こうとせず、皮膚科などの医療機関で処置(ダニの除去、洗浄など)をしてもらいましょう。

ダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱などの症状が認められた場合は医療機関で受診しましょう。

【受診時に医師に伝えること】

- ① 野外活動の日付け、② 場所、③ 発症前の行動



その他でできること